

国際会議報告

International Microwave Power Symposium (IMPI 53) 報告

International Microwave Power Symposium (IMPI 53) Report



京大生存圏研究所 三谷 友彦
Kyoto University Tomohiko Mitani
〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄
e-mail: mitani@rish.kyoto-u.ac.jp

2019年で53回目となる International Microwave Power Institute 主催の国際会議 53rd Annual Microwave Power Symposium (IMPI 53)が、アメリカ・ネバダ州ラスベガスの Caesars Palace にて6月18日(火)~20日(木)の3日間開催された。IMPI 53では、初日に2件のショートコースおよび展示企業のプレゼンテーションが、2日目以降は2件のキーノート講演、35件の口頭発表、7件のポスター発表およびパネルディスカッションがそれぞれ催され、18ヶ国から127名が参加した。また19社の企業展示が行われた。

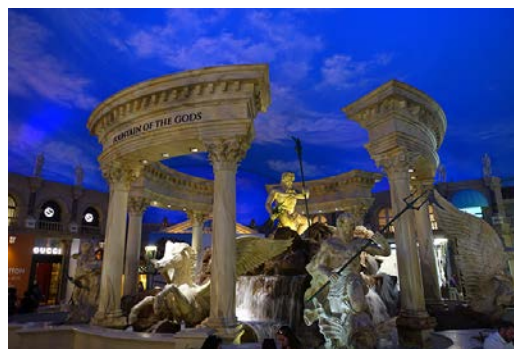


図1 (左) IMPI 53 会場の様子 (右) 会場 Caesars Palace に隣接するアーケード

シンポジウム全体を通じ、前回に続いて今回も半導体関連のイベントが極めて印象的だった。2件のショートコースは、いずれも半導体関連(Solid State Fundamentals, Solid State Advanced Topics)であり、口頭発表においても Solid State のセッションが2スロット分実施された。一方で、パネルディスカッションでは RF Energy Alliance (RFEA)が

2018年末をもって活動を休止した旨の報告および今後の方向性について議論が交わされた。半導体装置のコスト問題が RFEA の活動継続において非常に大きなネックとなっていたようである。いずれにせよ、今後の半導体装置の潮流や各企業の活動の方向性に関しては大いに注目すべき点である。

Welcome Reception や Group Dinner (Banquet) も盛大に行われ、Welcome Reception ではイギリス Microwave Technologies Association の Jennipher Marshall-Jenkinson さんによる電子レンジを使った調理のライブ実演が行われた。Group Dinner はイタリア料理屋にてピザやワインが振る舞われ、全参加者が大いに楽しんだ。



図2 Welcome Reception での電子レンジを使った調理のライブ実演



図3 (左) ポスター兼展示会場の様子 (右) Group Dinner の様子

第54回となる次回のシンポジウム(IMPI 54)は、アメリカ・ジョージア州サバンナ(Savannah)のDesoto Hotelにて2020年6月15日(月)～17日(水)の3日間開催される予定である。サバンナはアメリカ東海岸沿いの港湾都市であり歴史的建造物が多い街である。Desoto Hotelは最寄りのサバンナ国際空港から車で20分程度と近く、ホテルから車を30分程度走らせれば東海岸のビーチにも行くことができる。JEMEA関係では、今回は筆者を含め2名の参加者であり、日本からの参加者が少なかった点で少し寂しい印象を与えるため、来年以降は是非積極的なご参加をお願いしたい。

<https://impi.org/>

<https://impi.org/events/symposium/>